



藤上おどりの浴衣(国華堂/板土画)

元気っ子

No216 ながさわ保育園

平成 27 年 8 月号

園 長 市 川 温 予

暑中お見舞い申し上げます。

台風 11 号に続き 12 号。12 号は“真夏”を日本に運び込み、その後毎日猛烈な暑さが続いています。全国でも熱中症で搬送される人が急増しているようです。今は、地域社会、家庭形態の変容の中で子ども達は屋外で暑さや寒さを感じながら遊ぶ、そんな機会もなくなっています。炎天下で遊ぶことに慣れていないので保育園では戸外遊びの時間を考え、外に出る時は必ず帽子を被ること、水分補給をすること、また室内では風通しをよくしてエアコンやファンを回したりして子ども達の生活環境を整えています。

また、体温調節のできない子どもも増えているそうです。体温調節がうまくできないと運動中に熱が上がりすぎて「熱中症」になるケースが多いということです。

ご家庭でも外に出るときは必ず帽子を被ること、エアコンの温度設定はあまり低くしすぎず、十分な栄養と睡眠（早寝・早起き）をとっていただきますようお願いいたします。

プール遊び

身も心も開放的になる夏だからこそ子ども達が成長する時期です。暑い時期、心地よい水と関わり、夢中になって遊ぶ子ども達。この夢中になる「時」が本当に大事です。暑い日は、プールや水遊びが一番です。水の冷たさ、心地よさを全身で感じているようで見ていると本当に気持ちよさそうです。

ライオン組は 3 回、おんべ川に行きました。川底がみえていてとってもきれいです。きれいな石ころがあったり、ぬるぬるして滑りそうな石があったり、浅いところや深いところと子ども達は全身でその環境を受け止めています。流れの速いところでは足に力を入れて踏ん張って立っていなければいけません。流れや深さが場所によって違うので楽しい反面、とても神経を使います。担任はもちろん、引率する私達も人数確認を常にして安全を確かめています。

川という自然の舞台で子ども達は様々なことを体感し体得します。机上では、体験できないとても大切なことだと思えます。遊ぶ時間、仲間、空間という三間、そしてこの三間に大人が子どもに対してかけるべき「手間」を加えた四間（ヨンマ）がとっても大切だと私は思っています。とにかく手間暇惜みせずに大人が一生懸命に何事もするということが子ども達に返っていくのだと思えます。

これからますます暑くなるので、水の事故、熱中症には十分に気をつけ、この暑い夏を元気に乗りきっていきたいと思えます。そして今しかできないことをいっぱい経験させてあげたいと思えます。

